（一社）山梨県建設業協会・建災防山梨県支部　共同開催
「第２回建設まつり（第４回建設安全まつり）」　実施報告

１．　趣旨　　災害に強い良質な社会資本整備の必要性と、それを担う建設業並びに公共事業に対する正しい認識と理解を得るため、建設機械試乗体験や親子木工教室など、昨年度に引き続き建設業に触れ合う活動として「建設まつり」を開催し、この中で「守ろう尊い人命を、あたえよう幸せな家庭を」「明るい建設業を目指して」という基本理念のもと、建設工事に従事する労働者の安全確保の重要性や災害発生時の建設業の役目、さらには、最近の建設機械の状況や保護具の重要性などを紹介するとともに、将来を担う子供たち等に広く周知し、建設業に対するより豊かな感性を育み魅力ある建設産業のＰＲを目的とした。

２．　実施日　　平成２８年１０月１０日（月）10：00～16：00

３．　実施場所　アイメッセ山梨ＡＢＣホール・屋外展示場

４．　主催　　（一社）山梨県建設業協会及び建設業労働災害防止協会山梨県支部

５．　協賛　　東日本建設業保証（株）、（公財）建設業福祉共済団、
山梨県建設業協同組合、（株）建協クリーンロード
山梨県木造家屋等建築工事安全対策協議会
山梨県建設業協会青年部会

６．　協力　　国土交通省　甲府河川国道事務所・富士川砂防事務所、山梨県

７．参加者　報道発表　約 3,000 名
受付集計（大人 1113 名・高校生 2 名・中学生 10 名・小学生 476 名・幼児 632 名　計 2,233 名）
（関係者 260 名・未受付者約 500 名　計 760 名）　　総計　3000 名

８．　実施事項

①メインステージにて実施

・東富士七里太鼓による和太鼓演奏

・建災防オレンジ隊によるパネルシアター「オレンジちゃんとがんばるなかまたち」

（河川・公園関係工事、除雪作業、災害発生時対策等を題材としたｵﾘｼﾞﾅﾙｷｬﾗｸﾀｰによる手作りｼｱﾀｰ）

・サクライザーショー

・甲府市消防記念会によるはしごのり

②活躍する建設機械の紹介及び建設機械の試乗

ドラグショベル・高所作業車・移動式クレーン車

③ブース展開

・PR コーナー

山梨県建設業協会（土木建築・農務・林務）、

国交省によるパネル展示

・建設機械の展示　道路清掃車、ロータリー除雪車、ホイルローダー、１００ｔクレーン、照明車（国交省）、排水ポンプ車（国交省）i-Construction の実演　等

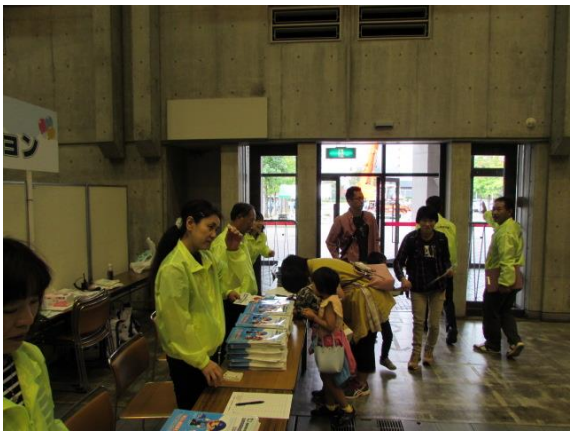
・職業体験コーナー　本立て作成体験、板金打ち出し体験、足場・防災用品体験

・展示コーナー

安全衛生用品（安全帯、ヘルメット等）、工業高校生の生徒による作品

・プレイコーナー　　オレンジ隊塗り絵・宝くじ、ミニトレイン

その他　当日の様子



県建設業協会 建災防県支部

第2回 建設まつり 盛大に開催

約3000人が来場

県建設業協会（浅野正一会長）と建設業労働災害防止協会県支部（井上和夫支部長）が主催する第2回建設まつり（第4回建設安全まつり）が10日、アイメッセ山梨で開かれた。子ども連れの家族など約3000人が会場を訪れ、各種催しや、職業体験コーナー、建設機械の試乗などを通じて、建設産業への理解を深めた。

浅野会長

建設まつりは、県建設業協会と建災防県支部の共催により初開催となった昨年度に続き、ことしが2回目。今回は、国土交通省甲府河川国道事務所、富士川砂防事務所、山梨県の協力も得て、ブースも増やすなど、規模を拡大した。

オープニングセレモニーで主催者代表のあいさつに立った浅野会長は、「建設産業は、県民の安全・安心を守るための社会資本整備の担い手であり、県内就業者数の約1割を占める地域の基幹産業。地域経済の安定と発展に大きな役割を果たしていると自負している。しかしながら建設従事者の高齢化が進み、技術、技能の継承や若年労働力の不足などの問題がたまっている」と述べた。

楽しさ、魅力をPR

続いて国土交通省甲府河川国道事務所の尾松智所長が「建設まつりは、将来を担う子どもや保護者の方々に建設業の魅力をしっかりと感じ取っていただく場として大変意義深いもの。建設業の発展につながることを願っている」と述べた。

県県土整備部の水上文明技監も「未来を背負っていくお子さんたちに、建設まつりに参加してもらい、体験を通して、建設業に興味を持っていただければ」と、期待を寄せた。

屋内会場には、建設業職業体験として、木を使った本立ての作成や、銅製の板を叩いて図柄や文字を浮き掘りにして作る板金打ち出し体験、実際に足場機材に乗り、墜落防止機材を体験するコーナーなどを設置。また、ことしは国土交通省、県も建設業をPRするブースも設けたほか、除雪車や照明車、道路清掃車なども展示した。

ステージイベントでは、オレンジ隊が、建設業の役割を伝えるパネルシアター「オレンジちゃんとがんばるなかまたち」を上演。建機をキャラクターに見立てたストーリーで、各建機の役割や除雪作業、災害時の対策、安全パトロール活動などを紹介した。このほか、甲府市消防記念会のメンバーによる梯子乗りなども披露された。

屋外展示場では、20tクラスの移動式クレーンや、12mクラス高所作業車、0・25㎥クラスドラグショベルなどの建機の試乗コーナーが大人気で、子どもたちが長い行列を作っていた。

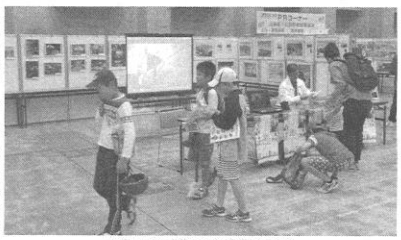
甲府市から参加した小学4年生の児童は、「自分で本立てを作ったり、ショベルカーに乗ることができて、とても楽しかったです」と感想を話していた。

建機の試乗体験は大人気

オレンジ隊のパネルシアター上演

甲府市消防記念会による梯子乗り

多くの来場者で賑わった



パネルや映像で建設業をPR